

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスセンターおひさま（放デイ）		
○保護者評価実施期間	令和6年8月1日		～ 令和6年9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12人	(回答者数) 8人
○従業者評価実施期間	令和6年8月1日		～ 令和6年8月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月14日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの発達状況に応じたきめ細かい個別支援及び集団での支援	<ul style="list-style-type: none"> ・障害（知的・情緒など）別、発達状況に応じた個別支援ができています。 ・集団活動では、異年齢の子どもとの運動遊びや製作遊び、感覚遊びなどを通してルールやコミュニケーションスキルの習得に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大人（保護者など）との関わりや子ども同士の関わりの中で、子ども自身が自主性や主体的に活動ができるように支援を行っていく。
2	保護者支援及び関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの相談に応じ、スタッフ間で連携を図り問題解決や改善策に積極的に取り組むことができている。 ・定期的に関係機関と連携を図り、それぞれの役割を確認することができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、保護者のニーズや不安や悩みに答えたいけるように迅速に対応し、安心していただけるように努める。また、関係機関との連携も密にとっていきたい。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門職による支援	<ul style="list-style-type: none"> ・作業療法士、言語聴覚士、公認心理師が集団活動に参加し直接支援を行っているが、各グループの参加の回数が少ない現状がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な人材が確保できるまでの間、各職員が研修を重ね専門性につながる支援に取り組んでいく。
2	施設の老朽化	<ul style="list-style-type: none"> ・賃貸物件により使用用途や環境構成に限界がある。 ・築年数が古い建物になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい建物を建設予定。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童デイサービスセンターおひさま（放デイ）

公表日 令和7年2月14日

利用児童数 令和6年11月1日 10人

回収数 8人

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	1				
	2 職員の数配置は適切であると思いますか。	8					
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	1				・室外・室内に関して整備が不十分など ころがありますが、出来る部分として心のバリアフリーを考え配慮するようにしています。また、設備が不十分な所は、新設の際に検討していきたいと思 います。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7	1				
適切 な支 援の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8				・子ども一人一人の特性に合わせて配慮して下さっていると感じます。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6	1		1	・支援プログラムを自分がきちんと確認して いない為、きちんと見るようにしたい。	・支援プログラムを作成中の為、作成し 次第、保護者の方に説明をしていきたく いいます。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7			1	・ガイドラインをきちんと読むようにし ます。（個別支援計画などは把握してい るが、ガイドラインを把握できていな い。）	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7			1	・計画を自分が把握していない。 ・きちんと読むようにしたい。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	6	2			・プレーパークをととても楽しみに参加し ています。	・法人で行っている、プレーパークに参 加する中で地域の子もたちと交流が持 てるようにしています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8				・保護者や本人の意向をくみ取って計画 されており、丁寧な説明があります。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8					
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	8					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8				・その都度、相談に対してアドバイスな どいただき、ありがとうございます。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8				・些細な事でも親身になって相談に乗っ て下さり、話しやすい。	
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	1				・保護者会は設立していませんが、分 離や懇談会を通して保護者同士のコミュニ ケーションが図れるよう心掛けていま す。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7	1			
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	1			
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8				
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7	1			・事業所は年度初めの他、懇談会等で説明をしてくれるが、保護者の自分自身が事業所に任せっきりでガイドライン、計画等をしっかり把握していないと感じた。もっと自分自身、子どもへの支援計画を主体的に見たり、意識したりするようにしていきたいです。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	8				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	6	2			
	29	事業所の支援に満足していますか。	8				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日		令和7年2月14日	
児童デイサービスセンターおひさま(放デイ)					
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・利用人数、子どもの状況に合わせたグループ分けを行い、スペースを分けて密にならないように活動を行っています。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・配置基準を満たし活動を行っています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		・室外・室内に関しては段差がある等整備が不十分なところがありますが、安全に過ごせるよう絵カード等を活用しながら工夫しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎日、活動後に掃除を行い、週末には空気清浄機等の掃除も行っています。活動室は、子どもたちの集中が途切れないよう、最低限の掲示物のみを貼っています。また、触ると危険な物は手の届かない所に置くようにしています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・活動内容や子どもの状態により別室も使用が出来るようにしています。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・日々の活動や行事ごとに振り返りの時間を作っています。また、月1回の会議を通して見直しを行っています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		児童発達支援と合同での年4回の懇談会と放課後等デイサービス対象の懇談会を実施しています。	・今後も、年1回継続してアンケートを行い、業務改善に繋げます。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・朝礼の時間で意見の把握や行事や活動後の振り返りの時間を設けています。また、自分の思いだけでなく、相手の思いを知ることで業務の改善に繋げる努力をしています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・法人の第三者委員より意見をもらっています。
10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・常に外部研修や内部研修に参加できるようにしています。専門職の先生からの意見も取り入れながら学ぶ機会を設けています。		
11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○		・現在、作成中です。今年度中に公表します。	
12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・連絡表や個別支援計画書、日々の振り返り等を通してニーズに基づく計画作成を行っています。 ・外部で行われたアセスメントツール等の結果も情報共有して支援の参考にしています。また必要に応じて感覚プロファイルを実施して評価しています。		
13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・児童発達支援管理責任者を中心に検討会議を行い活動の中での子どもの様子を共有することで共通理解の元、作成しています。		

適切な支援の提供

14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・子どもに関わるスタッフ全員が個別支援計画を把握しています。	
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・行動観察について日々の振り返りでスタッフと共有することや、前回の行動観察についてアセスメントしている。	
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・児童発達支援管理責任者を中心に検討会議を行い作成しています。	
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・他事業所の取り組みや児童クラブでの取り組みを伺い、活動内容が固定化されないようにしています。子どもたちの利用が不定期の為、活動内容が同じになることもありますが、1日の活動を通して様々な活動が経験できるようにしています。	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・利用児を受け入れた際に、保護者からの伝達事項は活動前に伝えるようにしています。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・活動終了後に保護者との振り返りを行い、その後スタッフ間でも振り返りを行っています。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・個人記録や全体記録をとっています。	
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		・「4つの基本活動」を取り入れた活動を行っています。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・毎回の活動内容を子どもたちと話し合う機会を作り自分のやりたい遊びを選択できるようにしています。	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児童発達支援管理責任者や担当スタッフが参加するようにしています。	
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・関係機関との会議を通して、連携が図れる体制を作っています。	
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・年1回、小学校連絡会を行い情報共有や勉強会の機会を設けています。送迎を行っていないため、トラブル等は特にありません。	
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・小学校連絡会や幼保小連絡会を通して、情報共有や勉強会の機会を設けています。	
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			・小学生を対象としている為、対象児が現在いません。
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		・児童発達支援センターが開催している研修を受けるようにしています。また、他職員にも資料等、回覧しています。	

関係機関や保護者と

の 運 携	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		・地域で行っているプレパークへ参加することを通して地域の方々との交流を図るようにしています。	
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	○		・法人関係者が子ども子育て会議の委員になっています。また管理者がこども部会の委員になっています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・送迎や活動終了後の振り返りを通して、話す時間を作っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・年5回懇談会を実施しています。その際、専門職の先生や先輩ママ・パパを招いての勉強会を行っています。	
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・日々の振り返りや個別支援計画、電話相談等を通して、話す機会を設けています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・個別支援計画の説明後、署名をもらい保護者の方にも控えを渡すようにしています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・日々の振り返りや個別支援計画、電話相談等を通して、話す機会を設けています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○			・保護者会は設立していませんが、分離の活動や懇談会を通して、保護者同士のコミュニケーションが図れるように心掛けています。また、きょうだい同士の交流は行事等を通して交流が出来るようにしています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・保護者からの相談・意見等があった際にはすぐに、管理者等に報告し対応を検討するように心掛けています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・おたよりを作成し、ホームページ等でお知らせしています。また毎月25日までは次月のおたよりをアップできるように心掛けています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・契約時に書面を用いて説明を行っています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・必要に応じて、視覚支援を用いた対応を行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			・感染症流行後、地域との関わりも薄くなってしまった為、今後地域との交流を持ち協力等を得ながら関係性を築いていきたいと思えます。
非	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・掲示を行い、周知しています。また、緊急時の対応が出来るよう連絡表に緊急連絡先を3ヶ所書いて頂き、緊急連絡ができる状況を確認しています。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・業務継続計画(BCP)を作成し、閲覧できるようにしています。また、毎月避難訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・契約時に連絡表に記載してもらい、確認をしています。 ・必要に応じ、主治医の意見書等を提出してもらい、把握するようにしています。	

非常時等の対応	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・医師の指示書の元、除去食の提供をしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・外傷記録簿や個人日誌に記載し、朝礼で伝達を行うことで再発防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・法人で虐待防止委員会を設置しています。また、研修会に参加することや必要に応じて関係機関と連携を図っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			・契約時、身体拘束についての同意説明は行っていますが、計画には記載していません。基本、身体拘束は行っていません。